

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認、病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用することにご了解いただけない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。

研究課題名	片頭痛に対するスタチン系薬剤の効果に関する検討
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山 隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	愛媛大学医学部附属病院薬剤部 薬剤部長 田中 守
研究期間	研究機関の長の許可日 ~ 2025年 3月 31日
対象	2017年3月から2022年3月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち片頭痛の治療を受けられ、治療薬を内服されている患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、既往歴、使用薬剤、血液検査データ、副作用の有無等
研究の概要	<p>スタチン系薬剤は高コレステロール血症の治療薬として使用されている薬剤の一つである。近年、シンバスタチンとビタミンDの併用が高コレステロール血症の治療に加え、片頭痛予防効果も有することが報告されています。しかし、その他のスタチン系薬剤あるいは、スタチン系薬剤のみの影響はこれまでに調査されていません。そこで、本研究は、片頭痛患者におけるスタチン系薬剤の影響を後方視的に解析することで、片頭痛に対するスタチン系薬剤の治療効果を明らかにしようとしています。</p> <p>本研究では、対象患者さんのカルテ情報を用います。スタチン系薬剤を使用した患者さんにおける使用前後での片頭痛を認めた日数の増減を調査し、スタチン系薬剤の投与ありと投与なしに分け、それぞれの群における治療成功期間等を比較し、解析します。</p>
個人情報の取扱い	この研究は、松山大学薬学部と共同で行っています。収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除し、パスワードを付加した電子ファイルにて CD-R に保存して松山大学薬学部に移送します。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待され

	<p>ます。また、患者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳重に保管いたします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。</p> <p>保管される試料・情報を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。</p> <table border="1" data-bbox="384 535 1417 680"> <tr> <td data-bbox="384 535 871 629">研究分担者</td> <td data-bbox="871 535 1417 629">松山大学薬学部医薬情報解析学 准教授 武智研志</td> </tr> <tr> <td data-bbox="384 629 871 680">既存試料・情報の提供のみを行う機関</td> <td data-bbox="871 629 1417 680">松山大学薬学部医薬情報解析学</td> </tr> </table>	研究分担者	松山大学薬学部医薬情報解析学 准教授 武智研志	既存試料・情報の提供のみを行う機関	松山大学薬学部医薬情報解析学
研究分担者	松山大学薬学部医薬情報解析学 准教授 武智研志				
既存試料・情報の提供のみを行う機関	松山大学薬学部医薬情報解析学				
お問い合わせ先	<p>愛媛大学医学部附属病院薬剤部 中井昌紀</p> <p>791-0295 愛媛県東温市志津川 454</p> <p>Tel: 089-960-5872</p>				